

<「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」>

- ・ 聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)
- ・ 聞きもらしがある
- ・ 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい
- ・ 指示の理解が難しい
- ・ 話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)
- ・ 適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)
- ・ ことばにつまったりする
- ・ 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする
- ・ 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい
- ・ 内容をわかりやすく伝えることが難しい
- ・ 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える
- ・ 文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする
- ・ 音読が遅い
- ・ 勝手読みがある(「いきました」を「いました」と読む)
- ・ 文章の要点を正しく読みとることが難しい
- ・ 読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)
- ・ 独特の筆順で書く
- ・ 漢字の細かい部分を書き間違える
- ・ 句読点が抜けたり、正しく打つことができない
- ・ 限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない
- ・ 学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい
(三千四十七を 300047 や 347 と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)
- ・ 簡単な計算が暗算でできない
- ・ 計算をするのにとても時間がかかる
- ・ 答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい
(四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算)
- ・ 学年相応の文章題を解くのが難しい
- ・ 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい
(長さやかさの比較。「15cm は 150mm」ということ)
- ・ 学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図)
- ・ 事物の因果関係を理解することが難しい
- ・ 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい
- ・ 早合点や、飛躍した考えをする
(0:ない、1:まれにある、2:ときどきある、3:よくある、の4段階で回答)

<「不注意」「多動性－衝動性」>

- ・ 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする
 - ・ 手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする
 - ・ 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい
 - ・ 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう
 - ・ 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる
 - ・ きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする
 - ・ 指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない
 - ・ 遊びや余暇活動に大人しく参加することが難しい
 - ・ 学習課題や活動を順序立てて行うことが難しい
 - ・ じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する
 - ・ 集中して努力を続けなければならない課題(学校の勉強や宿題など)を避ける
 - ・ 過度にしゃべる
 - ・ 学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう
 - ・ 質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう
 - ・ 気が散りやすい
 - ・ 順番を待つのが難しい
 - ・ 日々の活動で忘れっぽい
 - ・ 他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする
- (0: ない、もしくはほとんどない、1: ときどきある、2: しばしばある、3: 非常にしばしばある、の4段階で回答)

<「対人関係やこだわり等」>

- ・ 大人びている。ませている
 - ・ みんなから、「〇〇博士」「〇〇教授」と思われている(例:カレンダー博士)
 - ・ 他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている
 - ・ 特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない
 - ・ 含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通りに受けとめてしまうことがある
 - ・ 会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある
 - ・ 言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る
 - ・ 独特な声で話すことがある
 - ・ 誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す(例:唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ)
 - ・ とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある
 - ・ いろいろな話をすが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない
 - ・ 共感性が乏しい
 - ・ 周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うってしまう
 - ・ 独特な目つきをすることがある
 - ・ 友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、友達関係をうまく築けない
 - ・ 友達のそばにはいるが、一人で遊んでいる
 - ・ 仲の良い友人がいない
 - ・ 常識が乏しい
 - ・ 球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない
 - ・ 動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある
 - ・ 意図的でなく、顔や体を動かすことがある
 - ・ ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある
 - ・ 自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる
 - ・ 特定の物に執着がある
 - ・ 他の子どもたちから、いじめられることがある
 - ・ 独特な表情をしていることがある
 - ・ 独特な姿勢をしていることがある
- (0:いいえ、1:多少、2:はい、の3段階で回答)